

審判員名	大山 賢史	相手審判	副審	坂本秀樹	所属	埼玉
カード	八王子学園(東京)	対	県立取手第二(茨城)	(Aブロック1回戦)		

◇ ケース・ポジションについて

ケース1

オフense  
ファール  
(No Call)

ケース2

オフense  
ファール

ケース3

● レフリー

● オフense

× ディフェンス

◇ ミーティングの内容

Pre-Game-Conference	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八王子のビッグマンに対する相手のディフェンスのつき方の確認</li> <li>・ ヴァイオレーションの判定を大切に行うこと。</li> <li>・ ex →トラベリング(取りこぼし)～ファールを受ける～パスカン</li> <li>・ ファールコール、ヴァイオレーションのジェスチャー、T・Oレポートを正確に行うこと。</li> <li>・ ショットクロック、タイマー、オルタネイトの正確な把握をきちんと行うこと。</li> </ul>
<p>・お互いのチームのハンドチェックの基準をより整理する必要があるように思う。</p> <p>・ビッグマンにボールが入った際にトレールの位置が高い。特にファールなどがあつたわけではないがボールが入ったときにペネトレートをして2人で判定をするとよい。</p> <p>・両チームの足トラベリングの判定をより正確に、一貫性を持って。</p>	
<p>○ケース2に関して八王子のビッグマンのオフenseファールをコールした際に選手からアピールがあつた。ボールを運んでいる際にディフェンスに突っ込んでしまった。ジャンプしながらパスをしている状態であつた。ケース1においては、ボールをパスして2、3歩進んでからディフェンスに突っ込んでしまった。両方をコールすべきだつた。</p>	

《審判主任》二宮 隆二氏 (茨城)

※この記録表は、各自で記入して審判委員長に提出して下さい。

# 県外派遣報告書

栃木県バスケットボール協

大会名	平成27年度 関東高等学男子バスケットボール選手権大会	開催地	茨城県 ひたちなか市
報告者名	大山 賢史 (高体連)	派遣期間	平成27年6月30日(土)～31日(日)

**【感想・県内審判員へ伝達したいこと】**  
 今年度よりA級公認となって、初めて関東大会で主審を務めさせて頂きました。今までの審判活動にはない緊張感がありました。今までは主審とともにゲームを進めていくことがほとんどでした。しかし今後は今回の試合のように、大きな大会でも主審として活動していかなければならないということ、またその責任の重さを改めて実感しました。  
 大会中、次のステップであるAA級公認の方の試合も多く見学させて頂き、その判断力や決断力を勉強させて頂きました。1つ1つの判定はもちろんですが、メカニックの部分や、相手審判の判定しきれない部分をカバーしたり、その存在はとても安心感を与えてくれるものでした。まだまだ私には足りないところで今後も努力を重ね、必ずそういった審判員になると決意を新たにできました。  
 今回A級公認として、今までと違った立場で大会に参加させて頂き、今大会で見たこと、感じたことを県内で共有し、県内のレベルアップにつなげたいと思います。渡邊審判長をはじめ、派遣に際しまして様々な御配慮いただきました県内審判員の方々、また3日間お世話になりました地元審判員の皆様にご心より感謝申し上げます。

大山賢史

※この記録表は、各自で記入して審判委員長に提出して下さい。